

Excel 基本操作講座

1. 基本演算

数値や記号は必ず半角英数字を用いること。全角では正しく読み取ってくれない。

下のよう書くことで、四則演算、冪乗ができる。

	A	B	C	D	E
1	計算結果を黄色のセルに表示せよ。				
2					
3	1	+	4	=	=A3+C3
4					
5	4	-	2	=	
6					
7	6	×	5	=	
8					
9	5	÷	2	=	
10					
11	4	の	4	乗	

	A	B	C	D	E
1	計算結果を黄色のセルに表示せよ。				
2					
3	1	+	4	=	5
4					
5	4	-	2	=	=A5-C5
6					
7	6	×	5	=	
8					
9	5	÷	2	=	
10					
11	4	の	4	乗	

	A	B	C	D	E
1	計算結果を黄色のセルに表示せよ。				
2					
3	1	+	4	=	5
4					
5	4	-	2	=	2
6					
7	6	×	5	=	=A7*C7
8					
9	5	÷	2	=	
10					
11	4	の	4	乗	

	A	B	C	D	E
1	計算結果を黄色のセルに表示せよ。				
2					
3	1	+	4	=	5
4					
5	4	-	2	=	2
6					
7	6	×	5	=	30
8					
9	5	÷	2	=	=A9/C9
10					
11	4	の	4	乗	

	A	B	C	D	E
1	計算結果を黄色のセルに表示せよ。				
2					
3	1	+	4	=	5
4					
5	4	-	2	=	2
6					
7	6	×	5	=	30
8					
9	5	÷	2	=	2.5
10					
11	4	の	4	乗	=A11^C11

2. 基本統計量 1

	A	B	C	D	E
1	以下のデータに対し、基本統計量を求めよ				
2		データ			
3		1			
4		2			
5		4		最大値	=MAX(B3:B22)
6		2		最小値	=MIN(B3:B22)
7		5		中央値	=MEDIAN(B3:B22)
8		7		平均値	=AVERAGE(B3:B22)
9		3		分散	=VAR(B3:B22)
10		5		標準偏差	=STDEV(B3:B22)
11		3			
12		1			
13		5			
14		7			
15		4			
16		2			
17		6			
18		7			
19		4			
20		1			
21		4			
22		7			

関数を用いることで、簡単に基本統計量を求めることができる。

関数中の (B3:B22) とは、「セル B3 から セル B22 までの範囲で」ということ。

個数の求め方。

	A	B	C	D	E	F
1	以下のデータに対し、基本統計量を求めよ					
2		データ				
3		1				
4		2				
5		4		最大値	=MAX(B3:B22)	
6		2		最小値	=MIN(B3:B22)	
7		5		中央値	=MEDIAN(B3:B22)	
8		7		平均値	=AVERAGE(B3:B22)	
9		3		分散	=VAR(B3:B22)	
10		5		標準偏差	=STDEV(B3:B22)	
11		3				
12		1		1 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D12)	
13		5		2 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D13)	
14		7		3 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D14)	
15		4		4 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D15)	
16		2		5 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D16)	
17		6		6 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D17)	
18		7		7 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D18)	
19		4		8 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D19)	
20		1		9 の個数	=COUNTIFS(B\$3:B\$22,D20)	
21		4				
22		7				

3. 基本統計量 2

ここでは、相関係数と散布図について求めることができるようにする。

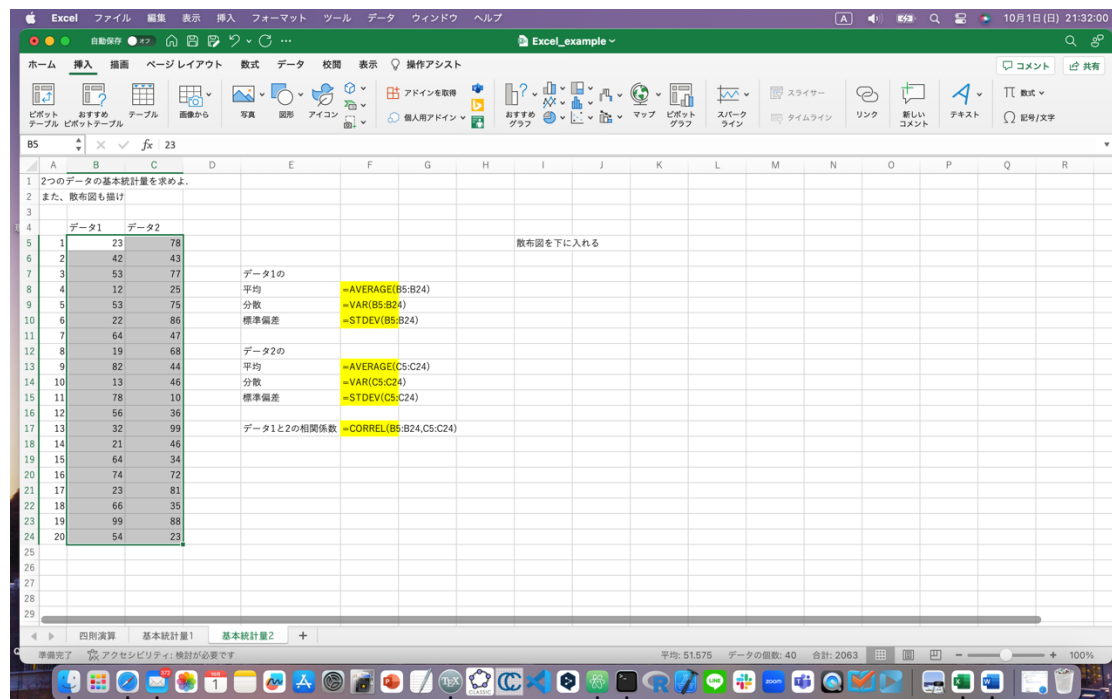
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	2つのデータの基本統計量を求めよ.							
2	また、散布図も描け							
3								
4		データ1	データ2					
5	1	23	78					
6	2	42	43					
7	3	53	77		データ1の			
8	4	12	25		平均	=AVERAGE(B5:B24)		
9	5	53	75		分散	=VAR(B5:B24)		
10	6	22	86		標準偏差	=STDEV(B5:B24)		
11	7	64	47					
12	8	19	68		データ2の			
13	9	82	44		平均	=AVERAGE(C5:C24)		
14	10	13	46		分散	=VAR(C5:C24)		
15	11	78	10		標準偏差	=STDEV(C5:C24)		
16	12	56	36					
17	13	32	99		データ1と2の相関係数	=CORREL(B5:B24,C5:C24)		
18	14	21	46					
19	15	64	34					
20	16	74	72					
21	17	23	81					
22	18	66	35					
23	19	99	88					
24	20	54	23					

相関係数は、2つのデータを引数として読み込む必要がある。

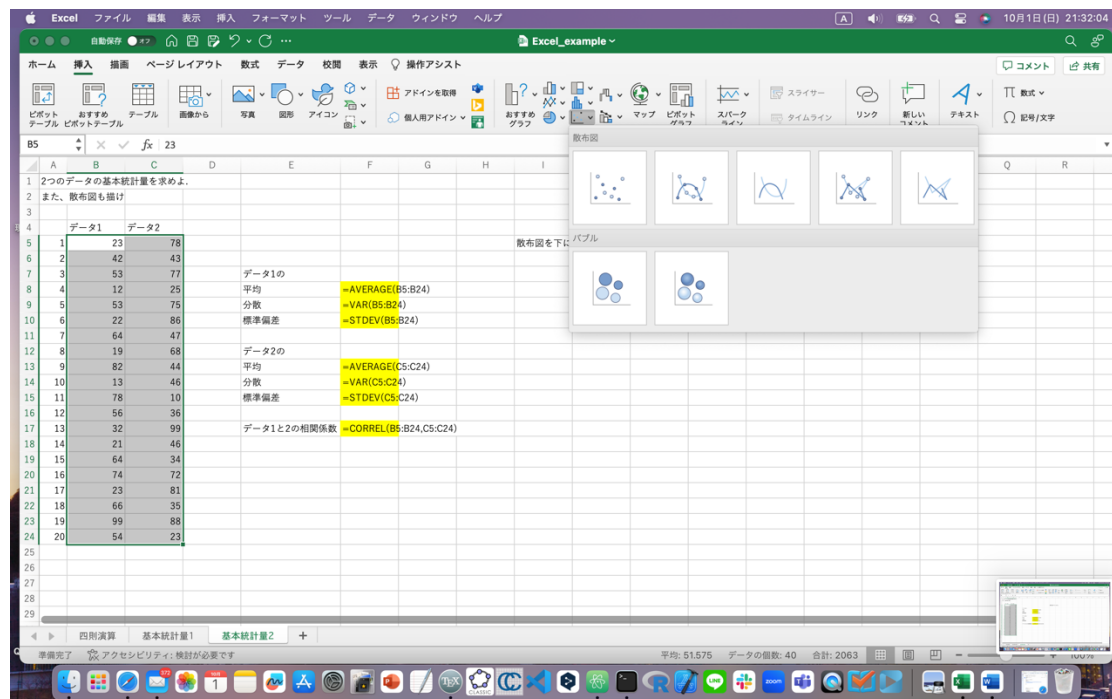
「=CORREL(データ 1, データ 2)」の形で相関係数を求めることができる。

散布図は、

① データの範囲を選択し



② 「挿入」 から散布図を選択。



③ 完成

